

芦川小学校への就学に関わる保護者アンケート集計結果

(H29年9月実施 対象:市内小学校1~4年生保護者)

1. あなたは、このような特色のある芦川小学校のことをどのように思いますか？

- ①非常に興味があり、自分の子どもを通わせたい。
- ②興味はあるが、子どもを通わせたいとは思わない。
- ③あまり興味はない
- ④その他(自由記述)

	1年	2年	3年	4年	計
①	44	30	33	35	142
②	209	222	198	204	833
③	81	77	78	70	306
④	22	35	18	18	93
計	356	364	327	327	1374

④その他の主な記述

- ・通わせてみたいが心配な部分はある。
- ・通わせてみたいが、条件による。
- ・通わせてみたいが、通学や緊急時などを考えると現実的には難しい。
- ・慣れ親しんだ地元や友達とは慣れてまで行くつもりはない。
- ・近くに住んでいる・職場が近いなどあれば通わせてもいい。
- ・毎日通わせるとは望まないが、月1回など時々通えるとよい経験になると思う。
- ・非常に興味があり、様子を見てよい校風だと思ったら通わせたい(小2)
- ・子どもが求めたら通わせたい。
- ・興味はあるが、今の生活形態で子どもを通わせるのは無理。
- ・子どもが保育園の時にこの内容を知ったら、通わせたいと考えたかもしれないが、転校させてまで通わせたいとは思わない。
- ・通わせるのは難しいが、素晴らしい学校だと思います。
- ・今も自然に囲まれて生活していますが、小学校の特色ある教育は貴重なものになると思います。

(参考資料)

芦川小学校の生徒数の推移予測

	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
1年	2	2	0	1	3	1	1
2年	0	2	2	0	1	3	1
3年	0	0	2	2	0	1	3
4年	0	0	0	2	2	0	1
5年	2	0	0	0	2	2	0
6年	0	2	0	0	0	2	2
児童合計	4	6	4	5	8	9	8
学級数	2	3	1	2	3	3	4

職員数

	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35
校長	1	1	1	1	1	1	1
教頭	1	1	1	1	1	1	1
県費職員	1	2	1	1	2?	2?	3?
市担講師	1	1	1	1	1	1	1

2. 芦川小学校の児童数増加を目指し、通学区域外からの受け入れを可能にする際、課題となる点や要望等がありましたらご記入ください。

○通学方法に関すること
 ・通学距離、通学時間に関する意見多数。
 ・スクールバスの運用について(スクールバスがあるのか どこから乗るのか…多数)
 ・雪や大雨の時に登校が困難。
 ・通学用のバスを用意することは可能なのでしょうか？
 ・通学時のバス利用の場合、高額になるのでは？
 ・バス代等、親の負担がないようにしてもらえたら。
 ・バス停は一人で待てる自宅近くが安全で助かる。
 ・通学のしやすさが課題です。
 ・朝、早起きしなければならない。
 ・バスの送迎の具体案が記入されていなかったので提示してほしい。
 ・駅から送迎バスが出ると通いやすいのではないと思う。
 ・放課後の予定の調整(通学に時間がかかるため)
 ・通学に時間がかかることが一番の問題です。
 ・宿題をする時間、家で過ごす時間が少なくなる。
 ・共働きで両親との同居など援助もないため、通わせることは困難です。
 ・通学を考えると、子どもだけで寮のような形態で暮らし、週末帰るというような自然学校のようにするとい。

○安全確保に関すること(多数)
 ・大雨等で孤立してしまったときの避難先の確保。
 ・体調不良時、災害時などの迎えが遠いために不安である。
 ・急病時に医療機関へ搬送する方法などに不安がある。
 ・非常時の対応(芦川地区が災害で孤立した際など)の具体的な案を示してほしい。

○学童保育について
 ・どこで受け入れてくれるのか
 ・学童は御坂と一緒にしてもらえたら仕事後の迎えは楽になり、中学校に上がる際も顔見知りの子がいて心強い(御坂西)。
 ・のびのびとした環境で子育てできるのは興味があるが、長期休暇中の学童もしっかりしていて、バスなどの送迎がないと大変。

○中学校への進学に対するの不安
 ・中学校は居住地区で通うならば、中学入学前に交流が必要になる。
 ・中学校はどこに進学するのか
 ・少人数の小学校から人数の多い中学校に入ったときの環境の変化についていけるか。
 ・中学校になるとき、地元の友達となじめるのか心配。
 ・小中学校が連携して紹介のような特色のある学校を作るのなら魅力はあるが、他の中学校に進学することを考えると不安がある。

○試験的な登校・他校との交流
 ・少しでも関心のある家庭の方々に、短期の体験入学の場を設けたらどうでしょうか？
 ・夏休み・冬休みなどを利用した体験入学などがあればより考えやすいと思います。
 ・期間限定の通学にしたり、学期ごとで日を決めて校外学習のような形で決まった日だけ通学するなど。
 ・通学バスや学童の利用等で、境川小・八代小・芦川小は、浅川中で同じになるので、1年ごと(あるいは2年ごと)希望の学校に登校できればそれぞれの地域の子と仲良くなるし地域を知ることができるのでは…。期間を決めて相互の留学もよいのでは…。
 ・期間限定で通う。または1・2年の学年限定で通うなどの方法はあるかもしれない。
 ・夏休みに、サマースクール等で都会や市内の子どもたちとの交流の場を設けたらどうか。
 ・近くの学校との交流を増やしてもいいのではないかと思います。

○教育内容について
 ・芦川小独自のスクールカラーを出して、他の学校ではできないことができる学校にする。例えば、私学のような進学校を目指したり、不登校の子が通いやすいフリースクール的な学校にしたり、有名な芸術家を講師に招き、芸術に特化した学校にしたり、英語だけで授業をする学校にするなど、思い切った学校改革が必要になると思います。
 ・少人数というところは興味があります。
 ・他の公立学校にはない学習指導が受けられることは、私立学校には行かせられない家庭にも選択の幅が広がっていいかもしれません。
 ・自分の住む地域を離れて6年間通わせるのはかなり覚悟がいることかなとおもうので、他の学校とはまったく違う特徴があると増えていくかと思えます。
 ・現在の特色だけでは、わざわざ通わせたいと思うメリットは感じない。
 ・全国で対等に競えるような学力を養える取組やグローバル教育など、大人数ではできないような特色があると一考の余地があるかと…。
 ・もし目指すのなら、私学(山梨学院小、駿台小)のように、優れた進学実績を有するなど、目に見える(数字に表れる)他校との違いが必要だと思います。
 ・南アルプス市にあるような「森の学校」として、親の手から離れて暮らしながら学ぶという施設に移行する案。
 ・フリースクール的な学校にも解放して、通常通学しにくくなっている児童生徒の受け入れ。通常の芦川の児童とはカリキュラムを分け、時には一緒にできたら…。
 ・本当にすばらしい教育で他の学校とすごい差があるのか？明確な何かがあれば魅力的だと思います。

○PTA関係
 ・PTAなどの親への負担が気になる。
 ・役員になった際の会合が大変。

○家族ごとの転居・定住の促進
 ・「芦川に住みたい。」と思わせるほうがいいと思う。
 ・周辺に済むことのメリット(補助金・各種手当)があれば人が集まるかもしれない。
 ・県内外から移住してくれる人が増えるとよいと思いますが、なかなか難しいかな。
 ・首都圏から呼び込んだり、不登校の子が楽しく自然体験をしながら学校に行けるようになったりできるなど、興味を持ってくれる保護者にアナウンスをすればいいかと思えます。
 ・空き家の活用、賃貸住宅の増設(家族ごと移住できる環境の整備)
 ・子どもを通わせることは、その親の生活もそこにはあるわけで、学校のみならず地域全体を視野に入れた検討が大切だと思います。
 ・人が住める環境(定住促進)整備を図る。
 ・芦川にある空き家を無料で提供し、県内外からの移住等も市役所とともに考えていくべきかと。また、移住してくれた方には、授業料(?)や給食費等の免除など、魅力を伝えるのなら、このようなこのようなことも検討していくといいかと思えます。
 ・家族ごと受け入れ、支援していく方策があるとよい。
 ・芦川自体を活性化していく工夫や周りの地域の意識向上も大切。
 ・寮を完備したら県外からも子どもが集まるかもしれません。
 ・短期的な「山村留学」のような制度がありましたらおもしろいです。
 ・定住策を進め、地域に住む子どもを地域で育てるようなことを考えたほうがいい。

○小規模校の不安
 ・友達同士のチーム遊びができない。
 ・少人数教育は確かにいい面もあるが、反対に心配な面もあるのも現実だと思う。
 (集団生活を送る上での友達とのかわりなど)
 ・集団の中で思い通りにならない現実も体験してほしいので、小規模すぎる学校はちょっと考えてしまいます。
 ・クラス替えがあったほう子どもにとっていいと思う。
 ・人数が増えた場合も、今と同じような活動を継続して実施できるのか。
 ・メリットよりもデメリットのほうが多い。
 ・集団での行動の機会が減るので、自然教室や修学旅行は大きい学校と合同がいいのでは…。

○その他
 ・友人関係などで悩み、学校に行けなくなっている子どもにとって救いになると思います。
 ・おこなっていることには特色があり、情報を発信することで理解は得られると思う。
 ・児童数の減少は芦川小以外でもあることなので、笛吹市全体で考えてもらえば検討したいです。(御坂東小の児童数減少も気になっています。)
 ・学校以外での地域活動(スポ少や地域行事など)の兼ね合いを考えると「児童数増加」だけを目的として通う場合難しい。
 ・今通っている学校もとても過ごしたすく大好きです。転校してまで芦川小に通わせようとは思いません。

・一番下の子がもう4年生でこのタイミングで転向することはできないが、例えば、一番上の子が入学前にこのような選択肢があったとしたら、芦川小へ入れたかったと思う。
 ・増加した場合も、現在の特色を生かしてほしい。
 ・途中で転校となると、仲良くなった友達と別れることには無理がある。
 ・支援学級の児童でも利用できる環境であるとやさしい。
 ・急な児童数増加になるようなことがあった場合、学校生活でストレスを抱えるのは子どもたちなので、そういったところも考えてあげてほしい。
 ・1年生の入学前に、八代小か芦川小かみんなが自由に選択できるようなシステムになっていれば、少人数制で学力をつけたいと思う親は芦川小に行かせようと思うのではないだろうか？

・不登校児や様々な問題を抱えた子どもなどの受け入れ等があるとまた違った形でいいのでは。
 ・現在通学している学校から転校という形より、現在、保育園、幼稚園に通っている子どもたちへのアピールのほうが良いと思います。
 ・大変よい取組だと思う。学校のない地域に未来はないことを多くの統廃合を見て感じてきた。街中の特色のない学校よりも、人数は少ないながらも特色ある運営が望ましい。
 ・家族全体の生活状況から通学はできないが、こうした存続に向けた動きはさらに進めてほしいと願い、こうした問題こそ税金投入してほしいと思う。
 ・子どもを通わせる前に、まず大人が働く場所等の問題を考えるべき。
 ・もっと、芦川小の外へのアピールとして、学校開放や地域あげでの参加型の企画があれば行ってみたい。
 ・一人ひとりを大切にできる環境はとても良いと思います。逆に、人数が多い小学校に少し教員等の職員を増やすことはできないのでしょうか？
 ・一宮北学校も少人数授業のため、先生たちの指導が丁寧です。
 ・芦川小学校のような極端に少ないところだけを対象にするのではなく、100人に満たないところも対象にすべきではないかなど、これから先のことを考えるとと思います。

▲過去に外部から通ってきた児童の中に問題をかかえた児童がおり、先生方がかかりきりになり迷惑しているという話を古くからの住民に聞いたことがある。住民の方にも意見を聞いてみてください。
 ▲そこまでして存続させなければいけない理由は何なのでしょう？
 ▲本来の学区を変更してまで通わせるメリットがわからない。
 ▲芦川小がある意味がよくわからない。むしろ、芦川の子どもたちがバスなどで他の小学校に行ったほうが良いのでは？